

第 22 期第 3 四半期業績のご報告 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

平成 30 年 5 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当四半期におけるわが国経済は、企業収益や個人消費に改善の動きが見られ、穏やかな回復基調にあるものの、米国の政策動向や東アジアにおける地政学的なリスクの影響など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

駐車場業界におきましては、慢性的な駐車場不足により都市部を中心として高い駐車場需要はあるものの、訪日外国人の増加による宿泊需要の高まりを受け、既存駐車場を宿泊施設に転用や土地の賃借料の高騰など、厳しい事業環境となりました。又、北陸地区において 2 月に記録的な積雪に見舞われ、特に当社の本店所在地である福井県内では昭和 56 年以来 37 年ぶりの記録的な積雪により、大規模な交通障害が長期間にわたり発生し駐車場の稼働が著しく減少した結果、非常に厳しい事業環境となりました。

このような環境のもと、CPシステム運営事業では、新規駐車場においては、積極的な営業活動を行い、開設を進めました。既存駐車場においては、駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施して収益力の向上に努めて参りました。その結果、売上高 698,134 千円(前年同期比 94%)となりました。

CPシステム販売事業では、管理受託駐車場数の増加によりメンテナンス売上は伸長しましたが、得意先の新規駐車場の開発計画が減少傾向となったことにより駐車場システムの販売が減少致した結果、売上高 675,779 千円(前年同期比 90%)となりました。

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、物件の稼働率の向上に努めた結果、売上高 60,299 千円(前年同期比 96%)となりました。

以上の結果、当四半期における売上高は 1,437,814 千円(前年同期比 92%)となりました。

事業区別	金額	前年同期比
CPシステム運営事業	698,134千円	94%
CPシステム販売管理事業	675,779千円	90%
プロパティマネジメント事業	60,299千円	96%
その他	3,601千円	113%
計	1,437,814千円	92%